



平成21年9月24日

各 位

会社名 株式会社 さいか屋  
 代表者 代表取締役社長 岡本 康英  
 (コード番号 8254 東証第2部)  
 問合せ先 本社経理部長 木村 信  
 (TEL. 044-211-3157)

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年2月期第2四半期（平成21年6月1日～平成21年8月31日）において下記のとおり特別損失が発生することとなりましたのでお知らせいたします。また、特別損失の計上および最近の業績動向を踏まえ、平成21年4月20日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

当社は、退職給付会計における大量退職に伴う退職給付制度の一部終了の会計処理を行った結果、特別損失として約380百万円計上する見込みとなりました。

2. 平成22年2月期 業績予想の修正

(1) 平成22年2月期第2四半期累計期間業績予想値の修正(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	31,400	380	150	△160	△4円97銭
今回修正予想(B)	29,170	70	△150	△980	△30円46銭
増減額(B-A)	△2,230	△310	△300	△820	△25円49銭
増減率(%)	△7.1	△81.6	—	—	—
前期(平成21年2月期第2四半期)実績	34,861	261	15	3	0円14銭

(個別)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	30,700	350	130	△150	△4円66銭
今回修正予想(B)	28,620	30	△190	△940	△29円22銭
増減額(B-A)	△2,080	△320	△320	△790	△24円56銭
増減率(%)	△6.8	△91.4	—	—	—
前期(平成21年2月期第2四半期)実績	34,030	55	122	201	6円97銭

(2) 平成22年2月期通期業績予想数値の修正(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	63,800	790	360	300	9円32銭
今回修正予想(B)	61,570	480	60	△520	△16円16銭
増減額(B-A)	△2,230	△310	△300	△820	△25円48銭
増減率(%)	△3.5	△39.2	△83.3	—	—
前期(平成21年2月期)実績	68,826	358	△187	△2,681	△83円31銭

(個別)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	62,600	740	330	310	9円63銭
今回修正予想(B)	60,520	420	10	△480	△14円92銭
増減額(B-A)	△2,080	△320	△320	△790	△24円55銭
増減率(%)	△3.3	△43.2	△97.0	—	—
前期(平成21年2月期)実績	67,176	△77	△210	△2,994	△93円03銭

## 修正の理由(連結・個別)

当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、世界的な金融不安や急激な円高の進行等による景気の急速な悪化が、個人消費の低迷につながり、消費者心理が節約志向、低価格志向へと傾き、美術宝飾品等高額品をはじめ主力の衣料品等の販売不振が想定を大きく上回り、百貨店業の売上が当初の計画を下回る見込となりました。これにより、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回る見込みです。

通期の業績予想につきましては、今後も引続き主力である百貨店業の集客力、お客様満足の上昇のための諸施策の実施及び諸経費削減に努めてまいります。現時点におきましては第3四半期以降の予想が困難であることから、下期については当第2四半期累計期間業績予想に対する未達成額の減額のみを行っております。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上